

科目名	財務分析論	科目分類	■専門科目群(第1グループ)	
			□総合科目群(第2グループ)	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Financial analysis	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	よしだ かつひろ	開講時期	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	吉田 勝廣	修得単位	2単位	
授業のテーマ	さまざまな角度からの企業経営(志望先企業)の自己診断をしてみよう。			
到達目標	企業経営に関して、効果的かつ有効な「企業の経営分析」の目的や考え方、理論等を修得し、企業の決算書類(財務諸表)が読めるようになる。			
授業概要	社会環境変化を正しく認識し、企業の財務分析に関する社会的な要請の変化を体系的・実証的に理解し、効果的かつ有効な「企業の財務分析」の進め方、グローバル時代の在り方を、実践的に学ぶ。			
授業時間外の学習	簿記学習をしっかりと取り組んでおくこと。例えば、日商簿記検定2級の資格取得を目指してほしい。			
履修条件	財務分析について「興味」と「関心」のある学生でかつ日商簿記検定3級程度の知識と技能があることを前提に授業を進める。			
授業計画				
第1回	財務分析の基礎(財務分析の意義と目的、財務分析の体型と方法)			
第2回	会計情報の意義と役割(企業の経営目的、財務諸表)			
第3回	収益性の分析①(意義、資本利益率の分析、売上高利益率の分析)			
第4回	収益性の分析②(売上高費用率の分析、資本回転率の分析)			
第5回	安全性(流動性)の分析(安全性分析の意義と内容、経営指標)			
第6回	資金の分析(資金の分析の意義と内容、資金計算書、資金の活用状況を見る)			
第7回	成長性の分析(成長星分析の意義と内容、成長星の要因、経営指標)			
第8回	付加価値・生産性の分析(付加価値・生産性分析の必要性、計算と分配)			
第9回	損益分岐点分析の経営への活用			
第10回	損益分岐点の分析(損益分岐点の意義と役割、原価・費用分解、限界利益等)			
第11回	連結企業の分析(連結企業分析の意義と内容、企業集団の分析法等)			
第12回	キャッシュフロー分析			
第13回	設備投資の経済計算、企業倒産の危険区域			
第14回	企業分析練習			
第15回	全体まとめ、補足説明 ※受講生の理解度等により、講義の順番を変えることがある。			
第16回	定期試験			
テキスト	資料を配付する。			
参考文献・資料	特になし			
成績評価の方法	授業態度(30%)、提出物(20%)、定期試験(50%) ※授業態度は、授業内容に対する関心度と理解度を質疑応答において確認評価する。			
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】			

	<p>優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>【平成28年度(2016)以降入学した学生】</p> <p>秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	水曜日と木曜日の空き時間
学生へのメッセージ	さまざまな角度から企業経営の自己診断分析ができるようになります。